

なぜなに やま・もり 山や森についてもっと知ろう!

森林で、水はどのように動いているの?

森林は、洪水や渇水を緩和し、水質も浄化するなど私たちの生活に多くの恵みをもたらしています。この森林の能力は、森林に降った雨や雪が地表や地下を流れたり、蒸発したりといろいろな道のりで森林を移動することに起因します。今回は、この仕組みについて簡単に紹介します。



森林での水の動きがいろいろあることで、様々な効果が発揮されています。

森林の仕組みについて、改めて考えてみませんか。

※山形県では「やまがた緑環境税」を活用して手入れの遅れた森林を整備しています。

企業だって 森づくり♪

ぐるっと花笠の森【鶴岡】 鶴岡信用金庫 編



全員集合! 今年(H30)も雨でした。

担当者の声



鶴岡信用金庫 佐藤 仁貴 さん

鶴岡信用金庫は、社会貢献活動における基本スタンスのひとつとして、「地域の文化・体育・環境水準の維持向上につながるもの」を掲げています。当金庫は地球温暖化対策などの環境問題に積極的に取り組む、地域社会の環境整備に寄与することが、企業の社会的責任(CSR)と認識し、事業活動



森づくりチビッ子隊出動!



眺望を求めて下草刈り



みんなで昼食

における省エネルギー・省資源対策を講じると共に、地域金融を通してお客様の環境対策を支援することを基本とした「鶴岡信用金庫環境方針」を平成二十年十月に制定しました。
鶴岡信用金庫の環境に対する取り組みの一環として、地球温暖化防止のための森林整備と、里山の資源を活用した地域交流の促進と活性化を目的として「やまがた絆の森づくり」に参画し、平成二十二年から株式会社山形銀行さんと一緒に、「月山やすらぎの森」(鶴岡市羽黒町)で、「ぐるっと花笠の森【鶴岡】」の活動を始めました。
当金庫は本活動において、職員に親子で参加してもらったことを積極的に呼び掛けしています。本活動を通して、子供たちが普段は接する機会のない里山に親しむことで、森づくりの楽しさを実感してもらい、楽しむことで地域の環境

保全にも興味を持ってもらうような活動にすることを心掛けています。
これまで鶴岡市羽黒町地内「月山やすらぎの森」(十一ヘクタール)での下草刈り、枝打ち、除伐の活動に加え、遊歩道へのウッドチップ敷設、芝生広場へ丸太ベンチの設置や木製階段の修復などを行いました。特に、平成二十七年の第六回活動で「やすらぎの森」地内にある小道沿いの枝打ちや除伐を行なったところ、鬱蒼とした小道沿いの景色が、作業後は、清流立谷沢川を眼下に眺め、雄大な月山の姿が出現したことに参加者全員が驚くと共に充実感に満ちたことを今でも思い出します。以来、小道沿いから見る月山をはじめとした山々の絶景を確保することを目的として、毎年、枝打ちや除伐を行っています。
子供たちの活動については、森

今後の抱負(取り組み)について

「ぐるっと花笠の森【鶴岡】」の活動は、今年で十年目に入ります。今後は、さらに森林環境の整備・保全を進め、美しい豊かな森や自然を地域の子供たちへ引き継ぎ、活動に参加した子供たちが、将来自分の子供たちを連れて里山で遊びながら、自然を守るための大切さを伝えることが出来るようになればと考えています。庄内で森づくりや環境整備の取り組みを行っている他団体等とも積極的に協力しながら、環境貢献(CO₂削減・低炭素社会)ができるよう活動していきたいと考えています。

の楽しさを実感してもらうことを第一に、樹木医の砂山さん、出羽庄内森林組合さんの協力を得て、親と一緒に枝打ちを体験すると共に、木の実を使ったコマやコースターづくり等の木工クラフト、巣箱づくりなど、毎年、子供たちから興味を持ってもらう取り組みを行っています。また大きな木に一本梯子を使って登る体験や、二本の木に渡したロープを使ってスライドする体験などは、これまで森の中で遊んだことのない子供たちにとって、自然の中で親子がふれあう貴重な機会となっています。

★やまがた絆の森づくり推進事業★
企業などと森林所有者と県との三者協定による森づくり活動。
平成31年2月末現在、39企業・団体、35箇所で活動を展開中。

読者プレゼント

鶴岡市出身の絵本作家つちだよしはる先生「オリジナルマグカップとミニプランケットのセット」を抽選で10名様にプレゼント。詳しくはP.11をご覧ください。